

TDU *Agora*



埼玉県東松山市との連携協力に 関する包括協定締結 1

CONTENTS

今月の顔 小川猛志教授 (システムデザイン工学部 情報システム工学科)...	2	TOPICS	5
キラリ★電大生 東京千住キャンパス 硬式野球部	3	キャンパスよもやま情報.....	6
TDU LABO 信号処理とモデリング研究室 (未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科)...	4	News.....	7
「電大ガールズ」D-girls.....	4	Information	11



埼玉県東松山市との連携協力に関する包括協定締結

理工学部は1月24日に、東松山市と包括協定を締結しました。締結式は東松山市役所にて、川井悟理工学部長と天谷忠史理工学部事務部長同席のもと、森田光一東松山市長と安田浩学長による協定書へのサインが行われました。

東松山市は、埼玉鳩山キャンパスのある鳩山町に隣接し、学生の居住者も多く、大学最寄りの高坂駅もあることから、以前より研究協力や、幅広い年齢層の方が自主的に学ばれている「きらめき市民大学」への講師派遣、日本スリーデーマーチ等への運営協力を行ってきました。

そのような中で、東松山市より改めて包括協定を締結し、より一層の連携を深める提案をいただいたことから、今回の締結式を迎える運びとなりました。協定締結により今後は以下の活動が期待されています。



1. 東松山駅周辺の活性化「まちなかりノベーションプロジェクト」への協力

東松山市では、中心市街地である東武東上線東松山駅前の活性化のために「まち・ひと・しごと創生法」を活用して、「まちなかりノベーションプロジェクト」を設置しました。これは若者の視点で「つといの場」について考え、空き店舗を活用した「たまり場づくり」の設置とその運営を実施することにより、東松山駅周辺ににぎわいを創出するものです。そのために近隣の大学(大東文化大学・立正大学・武蔵丘短期大学・東京電機大学)に通う学生が、他の大学の学生と交流しながら平成30年度に東松山市が事業化する予定です。

このプロジェクトの大きな特徴は、学生と共に東松山市の若手職員と一緒に活動を行う点で、学生が大学以外の地域の活動を知ることができる良い機会となります。

2. 国際交流の活性化

東松山市では、18年前より「外国人日本語スピーチコンテスト」を実施しており、毎年本学留学生の参加を応援しています。その甲斐があり、今年も本学留学生が学生の部において最優秀賞と優秀賞を受賞するなど、異文化の交流に活躍しています。

今後も元気ある留学生の活躍の場として、東松山市との連携が不可欠となります。



挨拶する安田学長

3. 教員による社会貢献

今年度は、東松山市の中期・長期計画を策定する上での「東松山市総合計画審議会」への委員派遣を行っていますが、水質改善など環境行政への協力も古くから行われています。

今後も東松山市からの要望に対して、必要に応じて対応していく予定です。

4. 本学セミナーハウス(仮称)の活用

現在、埼玉鳩山キャンパスで検討している高坂校地(本学スクールバス待機場)を有効利用したセミナーハウス建設の計画において、校地が所在する東松山市との連携も視野に入れることができると考えます。具体的には、東松山市が計画している「まなびの道」の案内所として、東松山市へセミナーハウスの部分的な貸出しを行い、まなびの道の特徴をPRすることで、ウォーキング観光としての高坂駅西側の地域の活性化を計画しているものです。

今後、セミナーハウス計画には切り離せない事項となります。



協定書にサインをする森田市長(右)と安田学長

協定締結後は、関係者で和やかな懇談が行われました。

その際、森田市長からは若者の活躍を強く求めている内容の発言があり、安田学長も本学の学生が地域貢献に役立ち、学生自身がその活動により大きく成長することを期待して、そのための場を提供していただく東松山市への協力を約束していました。

安心・安全・簡単に絆がる次世代IoT

～社会を変革する次世代ネットワーク～



システムデザイン工学部
情報システム工学科
小川 猛志 教授

次世代IoTの実現に向けて

私は学生時代に物理を専攻していましたが、先輩の影響でネットワークへの関心が高まり通信会社に就職しました。電話交換機やIPモビリティ、ユビキタスサービスなどさまざまな情報システムの方式を検討から商用化まで経験させていただきました。2014年に本学の教授となってからは、あらゆる「ひと」「もの」「情報」を安心・安全・簡単に絆げられる、次世代IoTの実現に向けて以下の2つを中心に研究を行っています。

第一に、現状のインターネットは不正アクセスや成りすまし、名寄せ等のセキュリティ問題が多発しています。ネットワーク方式を抜本的に見直し、安全性・信頼性が保証されたデータだけを宛先まで届ける役割に変更し、それら課題を原理的に解決することを目指しています。

第二に、マシン端末向けにAdhoc網やLPWANが注目されていますが、特定のマシンによる無線帯域の占有や通信効率の低下を防ぐ仕組みやマシンの遠隔保守などの課題があります。既存技術への影響を最小限に、それら課題を解決する無線アクセス方法の創出を目指しています。



Software Defined Network 技術の実験

本年度は主に、Block chainを活用した分散信頼性保証技術や、P2P網の著作権管理技術、Big Dataを活用しクラウドがマシン間通信経路を最適化するCloud Control DTN、Adhoc網のトラフィック制御技術等について他研究室や企業と協力し研究を進めています。「P2P」はIEEE国際会議ICDAMT2017でBest Paper Awardをいただきました。「DTN」は2月5日～8日にシンガポールで開催されたIEEE国際会議WF-IoT2018で発表しました。

技術を忘れても 自力で再創出できるような指導を

授業では技術の暗記ではなく、技術が生まれた必然性や効果を学生が理解し、技術を忘れても自力で再創出できるような指導を目指しています。大学院では、上司を説得できる企画書作成演習を本学科の宮保憲治教授と共同で講義していますが、その業績が認められ工学・技術教育の発展を奨励する第12回関東工学教育協会賞をいただくことができました。

研究室の学生には自らの力で課題を発見・解決し、成果をアピールする力を身につけてもらいたいと考えています。私からは指示ではなくヒントを出すように心がけているのですが、皆自主的に取り組んでくれています。「楽しく、無理せず、助け合って、ベストを尽くす」を目指しています。



1月の基礎プロジェクト発表会

小川 猛志 教授 プロフィール

(システムデザイン工学部 情報システム工学科)

Profile

1991年 3月	東京大学大学院相関理化学科物性理論専攻 修士課程修了
1991年 4月	日本電信電話株式会社 (NTT) 入社 (2014年3月まで勤務)
2007年 3月	早稲田大学大学院情報生産システム研究科 博士課程修了 博士 (工学)
2008年 4月	東京電機大学非常勤講師
2014年 4月	同 情報環境学部情報環境学科 教授
2017年 4月	同 システムデザイン工学部 情報システム工学科 教授



3部リーグ昇格を決めて笑顔の部員たち(入れ替え戦が行われた淑徳大学にて)

東京千住キャンパス硬式野球部

秋季リーグ戦優勝

～東京新大学野球連盟3部リーグ昇格～

主将 寺嶋 元輝(未来科学部 建築学科2年)



入替戦では打線が繋がって勝利

硬式野球部は40名(1年生13名、2年生10名、3年生10名、4年生7名)の部員が所属し、春季・秋季リーグ戦優勝を目標に取り組んでいます。上級生が下級生に野球の事だけでなく学業やプライベートの事まで相談相手になるなど、学年の壁が無く繋がりが深いのがこの部の良いところです。

東京千住キャンパス内に野球場が無いため、練習時間の確保が難しく平日の全体練習は行えませんが、休日や長期休暇中に千葉ニュータウンキャンパス内にある野球場を使い練習をしています。長期休暇中には強化合宿や他大学、社会人クラブチームと練習試合を行うことで技術力向上に努めています。練習時間が限られているため、全体練習では守備練習や打撃練習といった個人ではできない練習を効率的に取り組むよう心がけています。

全体練習後には個々の課題に取り組む自主練習時間を設け、一人一人の意識を高め限られた時間を最大限に活かせるよう練習しています。また、平日は選手個人に練習を任せるなど、自分で考える練習を行うよう促しています。高等学校までは指導者がいる環境で野球をしてきましたが、私たちのチームには指導者がいません。そのため自分たちで何をしなければいけないか、何が必要かを考える自主性に重

きを置き、部活動を通して身に付けていけるようにしたいと考えています。

試合では、全力疾走や声出しなどの当たり前にできることをチーム内で徹底し、技術以外の部分も重視して試合に臨んでいます。

卒業生や大学関係者の方など多くの支えもあり、昨年の秋季リーグ戦では優勝することができました。また、入れ替え戦で東京農工大学に2勝1敗で勝利し、3部リーグへ昇格することができました。私たちがこうして野球ができるのも、多くの方たちの支援があるからです。それを忘れず、これからも感謝の気持ちを持って活動していきたいと思います。

前回は最上級生である4年生の力もあり、優勝・昇格することができました。4年生は卒業してしまいましたが、先輩方の意志を受け継ぎ3部リーグ優勝に向けて頑張りますので、これからも応援の程よろしく願いいたします。



安定した投手陣

信号処理とモデリング研究室

～身体知を考える～

未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科
花崎 泉 教授



職人、スポーツ選手、演奏家などの妙技に感動した経験があるでしょう。これらの妙技は、長い練習・鍛錬のもとに修得された身体知といえます。私たちの日常動作においても身体知はあります。音声を発声する調音動作、肺や舌・口唇などの調音器官を巧妙に動かし音声を作り出します。母国語は生まれながらの環境下で自然に体得しており無意識に発音することができますが、ひとたび非母国語を発音しようとすると調音方法が判らないことに気づかされます。その上、慣れていない音声は聴き分けが難しく自己の音声の正誤判定ができないことも独学を難しくしています。効率的に上達するためには、発音に関する専門的知識を有する教師による指導が必要となります。

本研究室では身体知の一つである調音動作を人が発生する音声、表情筋電位、発音時頭部MR画像などの信号に基づき数理的に解析して、日本人のための英語発音訓練の支援方法を考案しています。英語



口の動きと音声、筋電位計測実験

学習の必修化が小学校教育において予定されています。正しい英語発音を修得できるポテンシャルのある年齢であるだけに、指導する先生も責任重大です。意識していない口腔内の舌の動きや音声を可視化して表示することにより、訓練者にも指導者にも理解しやすい支援方法の開発を進めています。本学理工学部の松平圭一教授より、英語音声学の専門知識提供の協力体制のもと実用化を目指しています。自らできる喜びを感じる支援をモットーに、自己の機能の使い方を教示することによる動作支援法の開発に努めています。

また、歩行動作をテーマとした研究では、本学科の井上淳助教が開発している杖歩行訓練用歩行器の改善を同氏と共同研究しています。片麻痺の人が杖歩行できるようになるまでを支援する歩行器ですので、歩行器なしでの杖歩行動作を考慮した上で使用者へ過支援しないように、しかし安全確保が求められます。そのため杖歩行時の動作データから特徴を抽出し、使用者と歩行器との相互関係を明らかにしながら改良を提案、実用化を図っています。



杖歩行訓練用歩行器の
モーションキャプチャ実験

「電大ガールズ」D-girls

東京千住キャンパスでは期末テストも終わり、次年度へ向けた準備が始まりました。

私たちD-girlsも新体制となり、4月から開催されるイベントの準備を進めています。現在は、新入生を迎えるオリエンテーションや、女子学生限定の運動会の企画を検討しています。新たな試みや、より一層活躍の場を増やせるよう邁進していきます！

次年度も数多くのご参加をお待ちしています。楽しみにしててください！





「空き家を宿泊施設へ」というテーマで発表



熱気に包まれた会場

未来科学部

未来科学 キャリアワークショップ ～問題解決能力を身につける～

東京千住キャンパス事務部

1月19日に東京千住キャンパスにて、未来科学部3学科合同で実施している2年次の必修科目「未来科学キャリアワークショップ」の優秀班6グループによる発表会を開催しました。

既に12月には、約30グループによる予選を行っており、質の高い発表が行われていました。この科目の特徴は、異分野を学習している未来科学部の学生を3学科融合の5～6人のグループに分け、アンケートやフィールドワークを通じて足立区の課題や自由テーマを設定し、学生なりの問題解決案を導き出すという科目です。学科の枠にとらわれない点が未来科学部独自の取り組みになっています。

当日は、フィールドワークでご協力いただいた足立区職員や安田浩学長、積田洋未来科学部長からも講評をいただきました。過去の発表においては、学生からの提案が足立区でも検討されるという事例もありました。カリキュラムの関係で次年度は規模が縮小されますが、大学におけるキャリア教育として、学生にとってかけがえのない経験となりました。



足立区政策経営部長 工藤信様からのご講評

情報環境学部

卒業生による 仕事研究セミナー ～60社114名の卒業生が出席～

情報環境学部事務部

1月25日にウイシュトンホテル・ユウカリ(千葉県佐倉市)にて、情報環境学部の卒業生をお招きし仕事研究セミナーを開催しました。第一部「卒業生と学生との面談会」、第二部「卒業生と大学関係者との懇談会」の二部構成で開催し、当日は152名の学生と60社114名の卒業生に出席いただきました。3日前には都内で20cmの積雪が観測されるなど、その日も低温注意報が続く寒い日でしたが会場は熱気で包まれていました。

学生は「企業のホームページやパンフレットに載っていないことをたくさん聞くことができた」、「気になっていたことを質問できて大変参考になった」など大変満足した様子でした。

一方、卒業生からは「積極的な質問が多く意欲を感じた」、「たくさん後輩たちと話ができて楽しかった」などこちらも嬉しいメッセージをいただきました。

東京千住キャンパスへの移転を機に今回のセミナーが最後となることから、卒業生からは終了を惜しむ声をたくさんいただきました。卒業生の声を無駄にしないよう、今後も有意義なキャリア支援行事を計画したいと思います。



学生にアドバイスをする卒業生

東京千住キャンパス

東京千住キャンパス写真部 写真展



1月10日から30日まで電大ギャラリーにて、東京千住キャンパス写真部の写真展を開催しました。

「私の1枚」をテーマに各部員が今までに撮った写真の中で、最も気に入っている写真を展示しました。自由気ままに西へ東へ、写真部は好きな時にカメラを抱えて気に入った景色を撮る。そんな部員たちの撮った色とりどりの写真と共に、写真を撮りはじめた経緯や写真に対する想いについてもご紹介させていただきました。

ご来場いただきました皆様ありがとうございました。

(写真部 未来科学部建築学科3年 三田村)

埼玉鳩山キャンパス

TDUアドベンチャー



1月27日に、理工学部の授業科目「教養ゼミ」(担当教員:ヨーク・ジェームズ先生)履修の学生が、近隣の小学生へ向けた宝探しゲーム「TDUアドベンチャー」を企画、実施しました。

当日は天候にも恵まれ、約10名の小学生と保護者が参加し楽しい時間を過ごしました。

楽しく問題をクリアしていき、キャンパス内が小学生たちの元気一杯なエネルギーに溢れました。学生は地域(外部)と繋がることの喜びを感じたようです。

(理工学部事務部 飯田)

千葉ニュータウンキャンパス

情報環境学部 情報環境学研究科移転に向けて



1月22日に「さよなら会」が開催されました。この会は来年度のキャンパス移転を控え、既に後期授業も終了していることから、最後に本キャンパスを思い切り楽しもうと学生有志の企画から実現したものです。

当日は生憎の大雪となりましたが、100名を超える学生が参加し、普段入室できない研究施設等の見学や、校舎内外を舞台に大規模な鬼ごっこ「逃走中」を行いました。参加者は夕方の懇親会まで名残を惜しみつつ、盛会裏に終了しました。

(情報環境学部事務部 小林)

東京小金井キャンパス

第39回文化講演会



2月3日に府中の森芸術劇場ドリームホールにて、株式会社マザーハウス代表取締役山口絵理子氏をお迎えし、第39回文化講演会が開催されました。

インフルエンザの流行で2クラスが学級閉鎖の上、欠席者も多い中での開催となりましたが「一歩踏み出す勇気～Keep Walking～」という題目で約60分、海外の体験談を中心にお話いただきました。(生活指導部長 黒沼)

東京神田キャンパス 桃の節句 白酒のルーツ

桃の節句に白酒を飲む風習があります。この白酒は東京神田キャンパスのすぐそばにある豊島屋が元祖です。豊島屋は、1596年に現在の内神田2丁目に創業した東京で最古の造り酒屋です。神田明神の御神酒も醸造しています。

白酒売り出しの日には、夜明けから人々が店の前まで行列をなして、大変な騒ぎになったそうで「山なれば富士、白酒ならば豊島屋」と謳われていました。この様子は長谷川雪旦の「江戸名所図会」に描かれています。そんな江戸を騒がせた白酒は今でも当時と同じ製法で造られています。神田にお越しの際は おひとついかががでしょうか。

(出版局 江頭)



フェアモント州立大学と協定締結

本学とフェアモント州立大学(米国・ウェストバージニア州)は、教育、文化及び科学協力に関する協定を締結しました。フェアモント州立大学はCollege of Science and Technologyを有し、本学の専攻と一致する建築学、コンピュータ科学、数学、自然科学、工学の学科があり、幅広い分野において本学教員及び学生の学術交流が期待されます。

また、外国人向けの英語教育プログラムも充実しており、語学研修先としても考えられることから締結に至りました。



フェアモント州立大学



国際センター宍戸教授とフェアモント州立大学ジョーンズ前学長(フェアモント州立大学にて)

東京医科歯科大学と協定締結

本学と東京医科歯科大学(東京都文京区)は、連携協力に関する協定を締結しました。東京医科歯科大学は医学と歯学の融合を通じて、先進的な医療の実践に従事する日本で唯一の医療系総合大学院大学として「知と癒しの匠」を創造し、人々の健康と社会の福祉に貢献しています。

相互の教育研究資源の有効活用を図り、教育の発展と研究の推進及び人材の育成を推進することにより、教育研究の質の向上を図り、社会貢献に寄与することを目的として締結に至りました。



東京医科歯科大学

「電大建築の実学」

1月11日に東京千住キャンパスにて、未来科学部建築学科3年生による設計課題の展示会及び公開講評会「電大建築の実学 ～歴史と“今”が織りなす北千住の未来像～」を開催しました。北千住のまちに暮らし・学ぶ実感と、客観的な調査・分析を融合させ、このまちの「豊かさ」の発展に寄与する複合施設を計画・設計するという課題に対して、取り組んできた集大成が各々の作品に表現されていました。

選抜された発表者12作品のプレゼンテーションと公開講評会では、足立区の方々や近隣の方々にも作品について講評をいただきました。実際のまちづくりに携わっている方たちの指摘からは、多くの学びがあったと思います。



学生によるプレゼンテーション



北千住駅東口に商業施設建設を計画した作品

受賞
情報

顕著な活躍をした電大人を紹介します。



長瀬 佳史郎さん(修士2年)
鈴木 元哉さん(修士2年)
野口 裕司さん(修士2年)
村木 一平さん(修士2年)
森田 和希さん(修士1年)
未来科学研究科 ロボット・メカトロニクス学専攻
(ソフトメカニクス研究室)
第1回 HAKKO 熱の実験コンテスト
銀賞
平成30年1月22日



佐々木 元気さん(4年)
工学部 電気電子工学科電子光情報コース
(協調ロボティクス研究室)
電気学会産業応用部門
平成29年産業計測制御技術委員会
優秀論文発表賞
平成30年1月16日



佐藤 古都瑠さん(修士1年)
未来科学研究科 ロボット・メカトロニクス学専攻
(情報駆動制御研究室)
一般社団法人 日本シミュレーション学会
学会賞(奨励賞)
「Student Presentation Award」
平成29年10月27日



廣木 梨紗子さん(修士1年)
未来科学研究科 ロボット・メカトロニクス学専攻
(情報駆動制御研究室)
一般社団法人 日本シミュレーション学会
学会賞(奨励賞)
「Student Presentation Award」
平成29年10月27日



山本 健太さん(修士2年)
工学研究科 情報通信工学専攻
(暗号方式・暗号プロトコル研究室)
情報処理学会 コンピュータセキュリティ研究会
CSS 2017 奨励賞
平成29年10月24日

(受賞日順)

新しい時代を拓いた科学・技術 vol.7

「人間はやり通す力があるかないかによってのみ、
称賛または非難に値する」

レオナルド・ダ・ヴィンチ
(1452 - 1519年)

比類なき天才が生み出したものは…

絵画『モナ・リザ』や『最後の晩餐』で知られるように、
イタリア・ルネサンスを代表する芸術家であると同時に、
科学者、技術者としてさまざまな分野で活躍しました。

建造物の設計、金属加工、土木、機械工学などの工学
分野でも大活躍。潜水艦や飛行機、ヘリコプター、戦車、
太陽エネルギーや計算機の理論、二重船殻構造の研究、
初歩のプレートテクトニクス(プレート理論、地球科学
のひとつ)も理解し、さらには人体解剖も行いました。
科学と技術に関する手稿は、数千ページともいわれます。

1502年からはローマ教皇の息子の軍事顧問兼技術
者となり、イタリア中を歩き、要塞開発のための地図も
制作しました。世界中で「万能人」(英語では、Universal
Genius)と呼ばれています。

(エピソード)

姓のダ・ヴィンチは、トスカナ地方の「ヴィン
チ村で生まれた」ことから、非嫡子として生まれ、
14歳でフィレンツェの絵画工房に弟子入り。おび
ただしい数のデッサンが残る一方で完成絵画が少
ない、鏡文字を書いたなど、いまだに謎が多い。

後援会だより



平成29年度 父母懇談会の様子

「第5回常任評議員会」を開催

1月20日に東京千住キャンパスにて、東京電機大学後援会第5回常任評議員会を開催しました。今回は主に平成30年度活動方針について審議を行い、後援会の3大事業である父母懇談会事業、広報事業、学生支援事業に関して以下の通り、平成29年度事業を踏襲した形で運営することが承認されました。

なお、本常任評議員会で承認された平成30年度活動方針については、5月に開催予定の後援会評議員会にて正式に承認される予定です。

①父母懇談会事業

キャンパス会場に加え、地方10会場で開催

②広報事業

学苑の年3回発行、父母のための東京電機大学ガイドの発行、学生生活スタートブックの発行、後援会メールマガジンの発信

③学生支援事業

クラブ活動への補助、就職行事への補助、イベント支援・アイデアコンテストへの補助、食生活改善・学内環境整備への補助、こころとからだのサポート24への補助

校友会だより

「職域電機会会長会」を開催

1月27日に東京千住キャンパスにて、第14回職域電機会会長会を開催し26団体43名の方がご出席されました。職域電機会とは同一企業・職種に所属の卒業生が作る校友会の公認団体で、毎年各団体の会長等にお集まりいただき、学園並びに校友会からの情報提供及び相互の情報交換を行う場として開催しています。

今年は例年のプログラムに加え、佐藤太一工学部長・工学部第二部長より4月より新設する社会人向け実践知プログラム(履修証明制度)について説明がありました。その後、懇親会が開催され盛況のうちに終了しました。



出版局 新刊のご案内

航空無線通信士国家試験の問題集2点が刊行！ 著者による詳しい解説や、英会話・欧文通話のリスニングも準備しました。

航空無線通信士 試験問題集
第2集

吉川 忠久 著／QCQ企画 編著

A5判 320頁 2,808円

最新の出題傾向を分析し、既刊の問題を全面的に見直し。リスニングをWebで公開。

航空無線通信士 英語試験問題集
傾向と対策

山村 嘉雄 著

A5判 144頁 2,268円

航空通の英語試験における既往問題と詳しい解説を収録。文法と発音の具体的な学習方法も紹介。

学生だより

U-22プログラミングコンテスト経済産業大臣賞 BCN ITジュニア賞 受賞

～高校3年時に回路シミュレータを開発～

未来科学部 情報メディア学科 1年 山上 翔
システムデザイン工学部 情報システム工学科 1年 黒土 直斗

私たちは高校3年生の時に同級生3名で、電子回路作成の初心者にはフォーカスしたアナログ電子回路シミュレータ「Circuitor」を開発しました。この作品が2017年10月1日に開催された22歳以下対象の「U-22プログラミングコンテスト 2017」で経済産業大臣賞を受賞しました。さらにその実績が評価され、コンテストで優秀な成績を収めるなど優れたIT技術を持つ若者を表彰するBCN ITジュニア賞も受賞することとなりました。

U-22プログラミングコンテストやBCN ITジュニア賞の懇談会で見た数々の作品は、どれも同年代が作成したとは思えない程完成度が高く、その技術力に圧倒されました。その中で私たちの作品は、「欲しいけどなかったもの」の製作について、他の作品よりも明

確にしていた点が高く評価された要因であると思っています。

受賞したことにより自信を持つことができ、より洗練すれば世に出しても恥ずかしくないソフトウェアになると確信しています。完成度を上げるためにかなりの数の技術的な問題を解決しなければなりません、じっくり解決していきたいと思います。



(埼玉県立越谷総合技術高等学校29期生)
左から山上さん、黒土さん、永園さん(東京工科大学)

時代を越えて—東京電機大学の軌跡

発展・充実期(1) | Vol.07 |

〈昭和2年～昭和8年〉

昭和3年、昼間部に高等工業科を設置。これは後の大学設立の萌芽であった。

同年、取得した旧武道室を階段教室の実演室に改造した。この実演室には、服部が考案・設計した透写式計器、各種の大型ブリッジ、移動配電盤等をはじめ、教育効果の大きい実演用の器具装置が準備され、開設当初から大いに注目を浴びる名物教室であった。昭和43年小石川校舎へ移設するまで、この実演室で指導を受けた卒業生は多い。

昭和3年11月、高柳健次郎氏による日本初のテレビジョンの公開実験がこの実演室で行われた。



服部碩彦理事が意をそそいだ実演室

一方、電気知識の普及に力を注いできた本校は昭和2年以後、関係当局の後援を得て通俗電気講演会、小学校出張講演会、実演室への呼寄せ講演会など、また小学校教員に対しては電気工学講習会、専門家を対象とする夏期講習会などを行ない、さらに博覧会、展示会には積極的に出品した。

出典「学校法人東京電機大学75年史 小史」
(一部読みやすく修正しています)

今月の俳句

教職員親睦会「千住俳句会」

秋深し娘とはさむ鍋と酒
瘦せ秋刀魚すまなき顔に焼かれたり
老妻の生れを祝う秋の暮

陽一(阿部陽一)
七美男(松田七美男)
知多(絹川博之)

Information

サイバーセキュリティシンポジウム in TDU 2018

研究推進社会連携センター

文部科学省 平成29年度「私立大学研究ブランディング事業」採択にあたり、本学の情報セキュリティ活動と採択事業「グローバルIoT時代におけるセキュアかつ高度な生体医工学拠点の形成」への展開について発表する『サイバーセキュリティシンポジウム in TDU 2018』を開催します。

日 時	平成30年3月12日(月) 15:00~17:00
場 所	東京千住キャンパス1号館2階 丹羽ホール 北千住駅東口(電大口)徒歩1分
内 容	「東京電機大学における情報セキュリティの研究・教育並びに実践」 未来科学部 情報メディア学科 佐々木 良一 教授 「東京電機大学における医療機器システムに関する研究・教育並びに実践」 工学部 先端機械工学科 土肥 健純 教授 「研究ブランディング事業におけるIoTを含む医療機器システムに関する研究 計画とセキュリティグループへの期待」 工学部 電気電子工学科 植野 彰規 教授 「研究ブランディング事業における高度セキュアIoT医療機器実現のための 統合的アプローチ案」 未来科学部 情報メディア学科 柿崎 淑郎 助教
定 員	450名
参加費	無料 ※要事前申込み 参加ご希望の方は下記URLよりお申し込みください。 http://kokucheese.com/event/index/507634/
お問合せ	研究推進社会連携センター(研究推進部) TEL:03-5284-5230



学生主体の体験展示会 D-EXPO(ディー・エキスポ)

理工学部事務部

理工学部の各種クラブが作品や研究等の活動成果を展示する、学生主体の体験型展示会「D-EXPO(ディー・エキスポ)」を埼玉鳩山キャンパスにて開催します。

今年は10団体が出展。二足歩行ロボットのデモンストレーション、自主製作ゲームの体験、鉄道模型や写真等の展示をお楽しみいただけます。

日 時	平成30年3月10日(土) 10:00~17:00
場 所	埼玉鳩山キャンパス 本館 東武東上線高坂駅西口無料スクールバス8分
入 場	無料
出展団体	学術文化部会、自動車部、MDD愛好会、アニメ声優研究部、コンピュータクラブ部、ヒューマノイド研究部、映画部、写真部、鉄道研究部、模型部
お問合せ	理工学部事務部(学生厚生担当) TEL:049-296-0496



編集後記

大学は春休みに入り、キャンパスは閑散としています。情報環境学部と情報環境学研究科の東京千住キャンパスへの移転作業も始まりました。4月には沢山の学生たちでキャンパスが賑わうのを楽しみにしています。

TDU

学校法人東京電機大学 (総務部企画広報担当)

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

TEL. 03-5284-5125 FAX. 03-5284-5180

E-mail:soumu-kikaku@jim.dendai.ac.jp

<https://www.dendai.ac.jp/>



この印刷は環境保護の為、印刷に伴う廃液を排出しないシステムで印刷されています。



古紙配合率100%の再生紙を使用しています。